

PC紛失対策の 盲点と

新しい対策



PC 紛失対策の盲点と新しい対策方法

なぜ防げないのか

多くの企業で、PCのセキュリティ対策はすでに導入されています。

- ・ログイン制御
- ・リモートロック
- ・データ消去

しかしそれでも、PCの紛失はなくなっていません。

見落とされているポイント

現在の対策は、

「PCが起動している状態」を前提としています。

しかし実際の紛失は、こうした状況で発生しています。

- ・ 電車での置き忘れ
- ・ カフェでの離席中
- ・ 出張中の移動

つまり

電源が入っていない状態

通信ができない状態

この時、既存の対策は機能しません。

ある職員の実話

土曜日の午後。

研究員はいつものように外出先での業務を終え、帰路についていました。

バスを待つ間、少しだけ資料を確認しようと

カバンからノート PC を取り出します。

数分後、バスが到着。

そのまま乗車し、帰宅しました。

——その日の夕方。

「PC がない」

バス停に置いたまま

持ち帰っていないことに気づきます。

すぐに現地へ戻り、警察へ届け出。

しかし、PC は見つかりませんでした。



研究データや関係者のメール情報など、最大数百名分の情報が含まれている可能性があり、

「どこまで閲覧された可能性があるのか」

は判断できないままです。これは、特別なことが起きたわけではありません。

PC 紛失の多くは「持ち運び中」に発生しています。

新しい考え方

そこで必要になるのが、

「PC をバッグごと管理する」という考え方です。

多くのケースで PC 紛失の多くは、バッグと一緒に発生しています。

そのため、PC 単体ではなく「持ち運びによる移動」を管理することで、

これまで対策できなかった空白時間でも、所在確認ができるようになります。

方法はシンプルです。

PC を収納するバッグに

位置情報デバイスを組み合わせる

これにより

- 持ち出し中の所在を把握
- 紛失時に場所を特定
- 持ち出し運用を標準化（統一バッグ運用）

することで、結果として

「どこにあるか分からない状態」をなくします。

導入イメージ

特別なシステム開発は不要です。

- PC 支給時に標準仕様のバッグを配布
- 位置情報デバイスをバッグに搭載
- web 管理画面で位置情報を確認、運用ルールを設定

これにより

- 万が一の紛失時の PC 検索
 - 持ち出し管理運用の統一
 - 総務や情シスの持ち出し管理の負担軽減
-

最後に

御社でもすぐに導入できる、簡単な運用管理と低ランニングコストで実現できるプランをご案内することが可能です。

御社の PC 管理に当てはめた導入プランはプランを確認するよりご覧ください。

まずは、「自社にどこまで必要か」確認することから始めてみませんか？

導入プランを確認する

次のリンクより導入プランをご確認いただけます。

[法人様向け導入プランご案内](https://www.gravitages.com/corporate-form)

<https://www.gravitages.com/corporate-form>

ISMS ではカバーしきれない「持ち運びリスク」に着目しています。

弊社代表の近藤は過去に、東証プライム上場企業子会社にて情報システム部門の責任者として ISMS 導入に携わってきました。現在はこの経験をもとに、PC の持ち運びという“見落とされがちな領域”から、情報セキュリティ対策を見直す取り組みを行っています。

もし御社でも、持ち出し PC の管理に少しでも不安があれば、
まずは現状のリスク再確認からスタートしては如何でしょうか。

株式会社 Lit International

代表取締役 近藤 点 Kondo Tomoru

情報システム部門責任者としての経験をもとに、
PC のセキュリティ対策および

「持ち運びの空白時間を管理する」視点で対策に取り組んでいます

株式会社 IoTBank (ソフトバンクグループ) 代理店

〒158-0096 東京都世田谷区玉川台 1 丁目 11-10

TEL : 03-6805-7795

Email : lit@lit-international.net

社員PC紛失 20事例の傾向

どこでリスクが高まるのか

交通機関での置き忘れ



電車・新幹線・タクシー

カフェ・飲食店での紛失・盗難



談話時・作業中

車内・移動中の盗難



車上荒らし・営業車

出張先・海外での紛失



ホテル・空港・海外

PCとカバンごとの紛失・盗難が多発!

移動中・外出先での空白時間にリスク集中



事例一覧（実名非表示・業界名表記）

1. 県庁（関東）

職員が業務用 PC や会議資料の入った鞆を紛失。県が公式に公表。

出典リンク：県庁公式サイト

2. 国立研究機関（言語系）

パートタイム職員が、個人情報等を含む可能性の高いノート PC を研究所外で紛失。

出典リンク：研究所公式サイト

3. 県庁（甲信越）

保管中の個人情報入り PC3 台が紛失。延べ 3,798 人分の個人情報が含まれると調査結果を公表。

出典リンク：公式サイト

4. 公立大学（関西）

研究員が学外でノート PC を紛失。大学が公式に報告。

出典リンク：大学公式サイト

5. 私立大学（首都圏）

教職員が電車内で個人情報を保存したノート PC を紛失。

出典リンク：大学公式サイト

6. 私立短期大学（北海道）

非常勤講師が商業施設で、学生情報を含むノート PC を置き忘れ、その後盗難の可能性が高いと公表。

出典リンク：大学公式サイト

7. 国立大学病院（四国）

保守契約会社社員が、患者情報を含むノート PC を紛失。患者 2,956 名分。

出典リンク：大学公式サイト

8. 国立大学（北陸）

海外出張中に、個人情報が保存されたノート PC 入りのカバンが盗難。

出典リンク：大学公式サイト

9. 国立大学（中国地方）①

海外出張中、昼食中の数分間にノート PC 入りカバンを盗難。

出典リンク：大学公式サイト

10. 国立大学（中国地方）②

海外出張中、飲食店でノート PC 入りカバンを盗難。

出典リンク：大学公式サイト

11. 国立大学病院（四国）

海外出張中、患者個人情報 3,217 件を保存したノート PC 入り鞆が盗難。

出典リンク：大学公式サイト

12. 国立大学（語学系）

教員が海外渡航中に、学生情報入り PC と USB メモリの盗難被害。

出典リンク：大学公式サイト

13. 公立大学（首都圏）

特任教授が海外出張中に、学生等の個人情報が入ったノート PC を盗難される。

出典リンク：大学公式サイト

14. 国立大学研究所（首都圏）

教員が海外出張中に業務用ノート PC の盗難被害。学生の個人情報が保存。

出典リンク：大学公式サイト

15. 大学病院（首都圏）

患者情報を保存したノート PC が盗難。研究目的で収集した約 100 名分の情報が含まれていたと公表。

出典リンク：大学公式サイト

16. 大学病院（関西）

患者 374 人分の個人情報が記録されたノート PC を紛失。盗難の可能性も含めて捜索継続と公表。

出典リンク：大学公式サイト

17. 私立大学（首都圏）

兼任講師が、学生・卒業生の個人情報を保存したノート PC を学外で紛失。

出典リンク：大学公式サイト

18. IT サービス企業

派遣社員が帰宅途中に、顧客から預かった個人情報を含むノート PC 入り鞆を紛失。最大約 10 万件の個人情報。

出典リンク：法人公式サイト

19. SaaS 企業

社員が帰宅途中に、顧客情報約 6,000 人分を含む業務用ノート PC 入りカバンを紛失。

出典リンク：法人公式サイト

20. ゲーム・デジタル企業

従業員が帰宅途中に業務用ノート PC を収納した鞆を紛失。

出典リンク：法人公式サイト

21. NPO 法人

職員が電車移動中に、業務用ノート PC を網棚に置き忘れ。寄付者やボランティア等の情報が保存。

出典リンク：法人公式サイト

※ 社員 PC 紛失事故 エビデンス url 一覧（別添）
